小学校
６年

世界のなかの日本とわたしたち

茨木市立天王小学校

教科	社会	単元名	「世界のなかの日本とわたしたち」

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用

①－STEP３ABCD
②－STEP３GH

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。

単元でつけたい力

（教科等でつけたい力）
・世界の国々と日本とのつながり、その国の衣食住や子どもたちのようすなどを調べることを通して、その国の文化やくらしについて理解を深める力
・世界にはさまざまな課題や問題があることを知り、その解決に向けて国際社会において我が国が果たしている役割をを考え、表現する力。

（学校図書館等の活用でつけたい力）
・世界の国々のくらしや子どもたちの様子について調べ、日本とのつながりについて考える力
・世界が直面しているSDGｓに関する問題について、世界の国々や日本がどのように関わっているのか調べる力

単元における学習の展開（全１２時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第１次 （１時間）	○学習の見通しをもつ。 SDGｓの目標や世界で活躍する日本人の姿から、世界の国に目を向け、日本とのつながりや国際協力について興味をもつ。
第２次 （５時間）	○教科書や図書資料、インターネット等を活用し、日本とつながりのある国について調べ、まとめる。 ・衣食住、文化、習慣、子どもたちの様子など、その国の概要や特色について調べる。（☆本時） ・グループごとに調べる国を決め、分かったことをノートにまとめる。・・・本時 ・グループごとに発表し、伝え合う。
第３次 （６時間）	○世界がかかえる問題について理解し、日本の役割について考える。 ・世界平和や環境保全に向けた取り組み、国際連合のはたらきと目的、日本の人々の国際協力について調べ、それぞれの課題について整理する。 ・これまでの学習を振り返り、未来の世界の人々の命や健康について、今後の地球環境に着目して、根拠や理由を明確にして自分たちにできることを考え、交流する。

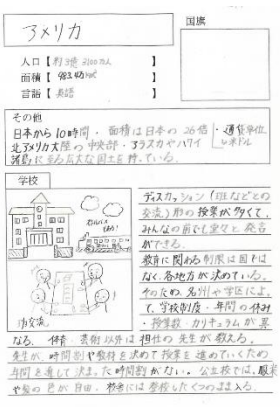
本時のねらい

・日本とつながりの深い国について、衣食住、文化、習慣、子どもたちの様子などを調べ、日本との違いや共通点を考える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 （５分）	**１．本時の学習課題を確認する。** グループ内で、調べる観点を確認する。	インターネットの情報を収集するときの注意点を確認する。
展開 （３５分）	**２．本やタブレットを使って、調べる。** 調べて分かったことは、ノートにメモしていく。 日本と同じところや違うところを比べて、その国の特色について考える。	図書資料やインターネットなど複数の資料で調べていく。
まとめ （５分）	**３．学習のふりかえりをする。** クラス発表で伝えたいことをまとめる。	１グループ５分程度の発表内容におさまるようにまとめる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

【調べるとき】
・調べてみたい、興味のある国を選び、グループに分けて調べた。（アメリカ、中国、韓国、ブラジルを２グループずつ）
・調べる観点を、学校、スポーツ、食、文化、言語、国旗に分け、グループの中で分担して調べるようにした。
・国に関する本が一人一冊以上あったので、調べ学習が充実していた。

【発表・交流のとき】
・４人グループのうち、２人が他のグループの発表を聞く役割、２人が他のグループの人に調べたことを話す役割にして聞く側はメモをとったり、発表内容に対して質問や反応したりするようにした。
・調べたことを伝えたときに、質問している様子が多く見られた。交流後、分からなかったところを発表者側に伝えると、その場で本で調べ、「○○という伝統料理はこんな感じの料理で・・・」などと本を指さしながら追加で伝えていた。
・聞く側は、疑問が解決でき、話す側は、より知識が深まり、良い交流の時間となった。また、発表するときにも、手に取れる距離にすぐに本があることも良いと感じた。